

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2012-240520(P2012-240520A)

【公開日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2011-111492(P2011-111492)

【国際特許分類】

B 6 2 J 15/00 (2006.01)

B 6 2 J 23/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 15/00 C

B 6 2 J 23/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

左リヤサイドカバー56Lと右リヤサイドカバー56Rの下側の構造を図9に基づいて説明する。

図9に示すように、左リヤサイドカバー56Lの前寄り下端に、第1フェンダ(図8、符号58)の左前側締結部(図8、符号89L)と接続される左前取付部103Lが設けられ、左リヤサイドカバー56Lの後寄り下端に、第1フェンダの左後側締結部(図8、符号91L)と接続される左後取付部104Lが設けられている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

加えて、右リヤサイドカバー56Rの前寄り下端に、第1フェンダ(図8、符号58)の右前側締結部(図8、符号89R)と接続される右前取付部103Rが設けられ、右リヤサイドカバー56Rの後寄り下端に、第1フェンダの右後側締結部(図8、符号91R)と接続される右後取付部104Rが設けられている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

以上に述べた鞍乗型車両10の作用効果を以下に記載する。

図10(d)に示す構成により、貫通開口部80Lを第1フェンダ58にのみ形成するため、貫通開口部80Lの内径D3を、リヤクッシュョン45Lの機能性を確保した上でリヤクッシュョン45Lの外径Dcに近づけることができる。貫通開口部80Lの内径D3がリヤクッシュョン45Lの外径Dcに近づくと、貫通開口部80Lとリヤクッシュョン45L

とのクリアランス C 3 を可及的に小さくすることができ、埃・塵等が第 1 フェンダ 5 8 内側に侵入することを抑制できる。

加えて、図 7 に示す構成により、左リヤサイドカバー 5 6 L を左貫通開口部 8 0 L から離して配置するため、左リヤサイドカバー 5 6 L の形状を左貫通開口部 8 0 L に関係なく自由に設定することができる。したがって、埃・塵等が第 1 フェンダ 5 8 内側に侵入することを抑制でき、左リヤサイドカバー 5 6 L の形状を自由に設定することができる鞍乗型車両 1 0 を提供できる。